

佐賀の農業、進化止まらず。 さがアグリヒーローズの正体を知る15日間。



磨き、稼ぎ、伝わる農業へ。

公募された5軒の農家が、それぞれの
クリエイターチームと4年間を掛けて、
売上げ1千万円増をめざす農業プロジェクト。
今回は2期生5軒が登場。商品や広報にまつわる
あれこれを展示し、デザイナーと農家が登壇する
トークイベントも開催します。

2026
10/1^木》10/15^木
六本松蔦屋書店

TALK EVENT

デザインは農業を変えたか!?
さがアグリヒーローズ8年の試み。

10/10^土 14:00-15:30

六本松蔦屋書店アートスペース

参加費
無料

定員
50名

【申込優先制】申込先:六本松蔦屋書店 店頭orTEL:092-731-7760

登壇者

白川製茶園×デジマグラフ×
江副直樹 [さがアグリヒーローズプロデューサー]



●主催:佐賀県 農業経営課

●お問い合わせ先:さがアグリヒーローズ運営事務局(受託事業者:株式会社ビーブラスト) TEL:0952-25-9083

5 軒の農家をサポートする 組のクリエイター

さがアグリヒーローズの最大の特徴は、選ばれた農家に、それぞれクリエイターチームが付き、4年間伴走することです。5軒の農家と5組のクリエイターを紹介しましょう。

農の風景を大きく変える 農業ベンチャー、現る。



イケマコ

農業総合商社の池田誠商店からスピンオフした農業生産法人。米、麦、大豆、もち米などを生産する、穀物のエキスパート。佐賀大学発のITベンチャーオプティムとスマート農業を実践。同大学内でオプティムカフェも運営している。

岩下建作デザイン事務所／岩下建作

グラフィックデザイナー／アートディレクター。印刷物を中心としたグラフィックデザイン及びアートディレクションを行う。唐津焼中里隆氏、椅子の世界的コレクター故・永井敬二氏などの書籍やツールデザインも手掛けている。



牛が飛ぶ？ 斬新なアイデアで 酪農の新境地を開拓。



大富牧場

母体は乳牛と肥育牛の牧場だが、プリンやソフトを売る店舗フライングカウを起業し、一躍評判店に。人気のプリンは、イオンやナチュラルローソンなど、他企業からのオファーも多い。昨年、2店舗目のデリーデリーを鳥栖にオープン。

オンドデザイン／馬頭亮太

クリエイティブディレクター・デザイナー・釣り担当。カヤックを操り、笹舟水産代表でもある。グラフィックから空間まで、プロデューサー的視点も併せ持ち、仕事の幅は非常に広い。物事への好奇心は底知れず。崇城大学教員。



米と大地、海苔と海、 その価値を現代に結ぶ。



しろいしもり

豊穡の有明海で海苔を、その海がもたらした豊富なミネラルが満ちる土地で米と麦を生産する。それらを表現するおむすび屋「しろいしもり」を開店。農業と、そして漁業を軸にしつつ、おむすびを通して第一次産業を再編集する。

tuii／田中淳・伊藤有紀

自らリノベーションした佐賀市内の小さなビルを拠点に、建築事務所出身の田中と、情報誌編集部、家具メーカーで経験を積んだ伊藤で構成するデザインユニット。しろいしもりの店舗が入る1階には、対対自ら運営する本屋とカフェがある。



麗しき花祭。 いちごの谷。花の谷。



花祭村

名前に恵まれた美しい扇状地、江北町花祭の谷で、自製肥料を使ったこだわりのいちごの生産を実践、シーズンには観光農園も営み親子連れに人気が高い。古民家をリノベーションしたカフェ「花祭村菓工所」の開業を準備中。

テツシンオフィス／先崎哲進

グラフィックデザイナー、アートディレクター。2009年テツシンデザインオフィス設立。2013年福岡市箱崎に移転、商店街のデザイン事務所として運営。福岡・九州をベースに、商業分野から福祉分野まで、クリエイティブワークを拡大中。



緑茶新世記。 お茶の歴史が、いままためくられる。



白川製茶園

緑茶の生産と販売を行う。一番茶、二番茶のほか、リーフ、ティーバッグ、ほうじ茶なども展開。直売に注力しており、機械化を推進、茶葉の分析など、科学的視点は特筆。2024日本・W受賞、2026農林水産大臣賞受賞など評価は高い。

デジマグラフ／村川祐子・羽山潤一

プランナー・コピーライターの村川とデザイナー・アートディレクターの羽山を主軸としたデザインファーム。広告やパッケージといったグラフィックワークから、商品企画・開発、ブランディングまで、総合的なデザインワークに優れている。

